

前橋工業高等学校 学校評価一覧表 ① (令和3年度版)

(様式1)

表の見方 具体的数値項目 A:充分達成できた B:達成できた C:もう少しで達成できた D:達成できなかった

自己評価校務分掌	羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価			
	評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート 生徒 保護者	改善策	自己評価	外部アンケート 生徒 保護者	改善策	
教務 関口 T	I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1) 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫に満ちた教育活動を展開する。 ・各教科で体験的学習を取り入れる。 ・選択授業・少人数授業を実施する。 ・授業参観・授業研究会を実施する。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の満足、ほぼ満足の合計が92.5%である。 ・分かりやすい授業や第一志望の進路実現に向けて努力する。 ・教員相互の研究授業や授業研究等を通して教育技術の向上を図る。 			
教務 関口 T			(2) 生徒が在学中に1回以上インターンシップに参加している。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ（短期・長期）を実施する。 	B			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大にもない、行事を見合わせている。 			
科長会 金子哲 T			(3) 工業の特長を生かしたものづくりに積極的に取り組み、実習内容に満足している生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を深めるため積極的な課外活動に取り組む。(各科研究部等) ・ものづくりが楽しくなる工夫を行い、生徒が積極的に参加できるようにする。 	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する実習について、96.1%の生徒が満足している。 ・各研究部で活動(ものづくり競技・電気自動車・マイコンカーラリーなど)を行い、成果を上げている。 			
教務 関口 T			(4) 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を充実させ、職員と生徒で運営できるようにする。 ・OBや社会人による講演を行う。 ・前工生であるという帰属意識とプライドを醸成する。 	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の満足、ほぼ満足の合計が87.0%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。 ・新型コロナウイルス感染拡大にもない、延期や中止など予定通りに実施できない行事がある。 			
資格指導 藤平 T			2 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	(5) 資格取得指導に満足している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・資格・講習会の紹介により受験を促す。 ・補習指導を各係で実施する。 ・家庭学習や放課後の時間を有効活用する指導を行う。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・資格、検定試験についての説明を徹底する。 ・受験指導の方法を工夫する。 ・早めに資格、検定試験の案内をする 		
教務 関口 T	II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(6) 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合った授業や、教材づくりなど各科でわかりやすい授業に取り組む。 ・授業における言語活動の充実を図る。 ・試験前、試験中に勉強会を行う。(学年) ・学習遅れの生徒へ補習する。(各教科) ・授業アンケートを基に授業改善に心掛ける。 ・ICT機器を活用した効果的な指導を行う。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学校の学習指導に満足、ほぼ満足しているの合計が84.2%である。また、授業に対して真剣に取り組んでいる生徒が92.2%である。さらに、保護者が学校の学習指導に満足、ほぼ満足の合計が91.0%である。 ・すべての授業でアクティブ・ラーニングによる授業実践を心掛け、実践している。 			
教務 関口 T		4 生徒は確かな学力を身につけていますか。	(7) 欠点保持者数は各学期で全校で10%以下である。	<ul style="list-style-type: none"> ・成績不振者に対し補習授業を行う。 ・履修科目を修得させる努力をさせる。 ・基礎、基本の知識が定着する授業を展開する。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の欠点保持者数は生徒全体の3.2%である。 ・特定の科目で多数の欠点があることが多い。早期に欠点を解消させるように課題等を提出させるなど計画的に指導していく。 			
教務 関口 T	III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(8) 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会を実施する。 ・各科と担任の情報交換を密にする。 ・定例学年会で情報交換する。 ・職員会議、成績会議で情報交換する。 ・各会議での情報を共有できるようにする。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談係やスクールカウンセラー、臨床心理士と連携して、支援が必要な生徒に対応した。 ・学年会を月に4回実施し、情報交換した。 ・オンラインシステムにより随時職員間の情報共有を行っている。 			
生徒指導 中野 T		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(9) 家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による欠席・遅刻をなくし、1日平均遅刻者数は前年度の98%以下である。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導も見据えた指導を行う。 ・遅刻カード（イエローカード）の記入を徹底する。 ・欠席遅刻が多くなりそうな生徒には、家庭へ連絡し早期改善に努める。 ・基本的な生活習慣を確立させる。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者数は前年度より少ない傾向にある。生活習慣が確立している生徒も多いが、遅刻をしてくる生徒は生活習慣が乱れや不登校傾向のある生徒がほとんどである。 			
保健 村上 T			(10) 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査の必要のある生徒の受診率は80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・検診結果により治療が必要な生徒に治療勧告を行う。 ・担任、養護教諭等で指導機会を増やす。 ・保健日より発行し、保健意識の啓発を図る。 	C			<ul style="list-style-type: none"> ・心臓・腎臓・内科等、命に関わる検診については、68%の生徒が受診を完了している。夏季休業中に受診した生徒も多くいると思われるが、引き続き担任・養護教諭等で指導している。 			
生徒指導 中野 T		7 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	(11) 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に各学期1回以上は行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートや面談週間などで、悩みを学校職員に伝える機会を設け、未然防止や早期発見に結びつける。 ・生徒、保護者が中心となって、あいさつ運動を展開する。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度現在までのいじめ認知件数は2件である。友人関係での悩みがほとんどであり、早期発見対応ができていた。またSC、教育相談と連携し対応できている。アンケート調査等も学期に1回実施している。 			
生徒指導 中野 T			(12) 学校は、「学校いじめ防止基本方針」について、1回以上生徒に説明している。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、全校集会で「学校いじめ防止基本方針」を説明し、いじめは絶対にあってはならないことを伝えていく。 	B			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響であいさつ運動に保護等は参加していなかった。全校集会等が開けず、直接生徒の顔を見て説明は出来ていない。放送連絡、HP、生徒指導より等による周知を実施している。 			
生徒指導 中野 T			(13) 学校は、生徒がSNS(ツイッターやラインなど)やインターネットの危険性や正しい利用方法などについて、1回以上は学ぶ機会をつくっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ケータイ安全教室」を実施し、SNSによるトラブルやSNSに頼らない人間関係の構築に向け指導を行う。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講習会を各教室を使って全校で実施した。今後、1年生のみにSNSに頼らない人間関係作りの講習会を行う。生徒指導よりや長期休業中の注意事項でも引き続き触れていく。 			
生徒会 橋本 T		8 部活動に積極的に取り組んでいますか。	(14) 部活動に入部している生徒は60%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会（部活動ガイダンス）により、新入生への部活動加入を促す。 ・部活動の諸調整を行い活動の活性化を図る。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を行った上で新入生歓迎会を無事に実施することができた。また、計画通りに部活動の見学期間を設けることができたので、部編成の状況から考えても加入率に大きな影響はなかったと思われる。 			
進路指導 植木 T		IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩と語る会や3年生と語る会を実施する。 ・進路希望調査を実施する。(年2回) ・進路講話や進路ガイダンスを計画的に実施する。 ・進路補講(2年3学期～)を実施する。 ・各科との協力のもと、企業見学やインターンシップを実施する。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで、進路行事を無理のない範囲で実施できている。特に3年生は、第一希望の進路実現に向けて、上級学校や地元の企業と連携を図りながら、進路ガイダンスを実施した。なお、昨年度、コロナ対策を含め、各種進路行事の見直しや精選をした。 		
進路指導 植木 T			(16) 学校からの進路に関する情報について満足している保護者が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路のしおりを作成し配布する。 ・保護者対象の進路説明会を実施する。 ・ホームページを活用し、進路行事や進路状況を載せる。 ・2者及び3者面談を実施し、進路希望の確認を行う。 ・配布物を保護者に見せるよう、学級担任と協力して生徒を指導する。 	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、県より支給されたクロムブックを活用し、進路に関する情報を生徒および保護者と共有している。現在、分散登校に伴いオンライン・オフラインのハイブリッド型授業を展開しているが、ICT機器の操作や活用が苦手な生徒に対して指導している。なお、3年生は進路活動に向けて、オンライン試験の受験者が増加傾向にある。 			
進路指導 植木 T	10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。		(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路日より定期的に発行する。 ・進路のしおりを作成し、全生徒に配布する。 ・進路相談室の充実を図る。 ・図書館に進路コーナーを設置し、生徒への情報提供を行う。 	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新たに飛沫防止用のアクリル板を購入し、特に安全性にも配慮したものを設置した。検温およびアルコール消毒などを手軽にできるような機器も設置し、進路室内の利用しやすい環境に努めた。また、ハローワーク等の関係機関と連携を強化し、必要な情報収集に努めた。 			
教務 関口 T	V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクールを行う。 ・学校公開を実施する。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校説明会を開催し、中学生、保護者、中学教員合わせて891人が参加した。 			
教務 関口 T			(19) 保護者全員を対象とした学級担任による面談を年1回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の3者面談週間を設ける。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・6月に2週間にわたり全校三者面談を行い、全生徒、保護者がHR担任と学校生活や進路について面談した。 			
教務 関口 T PTA 入山 T			(20) PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会や学年保護者会を実施する。 ・保護者への連絡を周知徹底するため、案内文書に加えメールでの案内も送る。 ・家庭との連絡を密にする。(担任) ・課題研究発表会等では、保護者に案内を送る。 	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会は、新型コロナウイルス感染拡大により書面表決とした。 ・クラス通信や学校のWebページ、一斉メールなどを活用し、適宜保護者に情報発信している。 ・新型コロナウイルス感染症については、Webページや一斉メールを活用して逐一情報発信している。 			
教務 関口 T			(21) 学校の活動内容や生徒の状況を年12回以上伝え広報活動も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの内容を随時更新する。 ・中学3年生向けの学校説明会時やオープンスクール時に配布して広報する。 ・中学校訪問時に配布して広報する。 ・中学校への出前授業を実施する。 	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・「前工通信」(学校新聞)や学校案内を作成し、中学校へ配付した。 ・Webページを小まめに更新し、学校の情報や生徒の活躍を分かりやすく広報している。 			
教務 関口 T	VI 教育のデジタル化につとめていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	(22) ICTを活用した授業を週1回以上が行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるICTの活用をする。 ・学習支援ソフトウェアの活用を図る。 ・学習用端末の利用する機会を設ける。 	A			<ul style="list-style-type: none"> ・各授業でICT機器を最大限活用している。 ・分散登校ではICT端末を用いてオンライン授業を行っている。 			
教務 関口 T		13 ICTを活用した業務改革を行っていますか。	(23) オンラインによる通知の割合が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した通知を活用する。 ・ICTを活用したアンケートを活用する。 ・オンラインによる通知を活用する。 	B			<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインシステムにより職員の情報共有を行っている。 ・重要な内容については紙面配布と併用しており、さらにオンライン化を推進する。 			